

## 平成24年度入学式告辞

皆さん、入学お目出度う。御家族の方々にも心からお祝い申し上げます。皆さんは今日から琉球大学の学生として勉学を始めますが、大学では自ら問題をみつけ自ら解決法を考え解決することが重要です。大学は単に知識や技術を教える場ではありません。学問の進歩や社会の変化のスピードは大変速く、学んだ知識はすぐに古くなってしまいます。皆さんは一生を通じ常に新しい社会の変化や学問の進歩に、そして色々な知らない事に遭遇します。新しい変化や進歩や初めて出会う事柄に対応するための考える力、自分で解決する力を大学で身に付けて下さい。少し古い話になりますが、かつてドイツの哲学者で精神病理学者であるカール・ヤスパースも「大学の理念」という著書の中で大学は単に知識や技術を教える所ではないと述べています。大学は真理を探究し、研究を行い、知識や学問を創造することにより地域社会の発展に貢献して来ました。

琉球大学には多くの特色ある学問の蓄積があります。沖縄は広い海で繋がるアジア・太平洋域の中心として発展してきた歴史があり、琉球大学は社会、経済、文化に関する研究や生物多様性の研究など多くの優れたものがあります。各学部はそれぞれレベルの高い学問を発展させています。

ここで大学の歴史を少しだけ述べますと、琉球大学は1950年に設立され今日の7学部より成る総合大学に発展しています。他の国立大学法人の大学はいずれも旧制度の高等学校や大学を前身にしていますが、琉球大学は戦後全く新しく設立されました。そして「自由平等、寛容平和」を理念とし、地域貢献と国際性は創立以来大学の重要なテーマです。東南アジアの国に小学校や病院を作るなど、他の大学とは異なる特色のある国際交流を行い広い海で繋がるアジア・太平洋域の知の拠点としての役割を果たしています。また、種々の先進的な研究を国際的なネットワークで行っています。さらに、琉球大学はCO2などの環境問題を重視し、エコアクション21という環境を大切にする取り組みも行っています。皆さんは大学で色々なことを学ぶことになりますが、将来を見すえて充実した大学生活を送って下さい。

大学院に入学した皆さんは、自らの学問を発展させるために研究する楽しさを学ぶことでしょう。失敗もするかもしれませんが、大きな発見は小さな発見の積み重ねの上に成し遂げられます。くじけず目標に向かって下さい。

皆さんが社会の一員として、不況や環境の問題、さらに福祉の問題など社会が現在かかえている多くの困難に打ち勝ち明るい未来を作る力を発揮すると信じています。

皆さん入学お目出度う。心から歓迎します。

平成24年4月6日  
琉球大学長  
岩政 輝男